

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず初めに、国境離島新法関係でございますけども、渕上議員さんおっしゃられるように、関連予算が80億円とも100億円とも言われております。この中の主なところが、言われるように、航空運賃や航路運賃の低廉化、そして燃油価格の低廉化対策に大方が回るんじゃないかなというふうに、私自身もいろいろと聞いております。そういった中で、特に議員御提案のこの国際交流特区の提案の一つの手法だというふうに、私自身も位置づけておりますので、検討してまいりたいというふうに考えております。

それとまた、私自身もこの選挙期間中に声を大きく申しておりました、トレッキングコースにつきましても、これは実現に向けて調査検討を早期にしていまいりたいと、その上で、この雇用対策等の喫緊の課題もありますけども、早期に提案ができるようにしていきたいというふうに考えております。

それと、最後の経済関係の件でございますけども、対馬産ヒノキ、杉の韓国輸出における仕組みづくりについてでございますけども、このことにつきましては、私もこの選挙の公約の中に挙げておりました、豊かな島づくりの5つの拡大戦略の一政策の一つでもありまして、対馬での供給体制や韓国でのPR、そして、木材製品としての輸出などを検討しながら、積極的に取り組んでまいりたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 5番、渕上清君。

○議員（5番 渕上 清君） 意欲、わかりました。ぜひ国境離島新法を大いに活用して、議会と、市長がおっしゃるように、スクラム組んでいろいろの持ち分、持ち分を生かしながら、市民が納得できる行政運営を一緒にやっていきましょう。

時間、少し食い込みました。終わります。

○議長（堀江 政武君） 関連質問で、清風会、4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 清風会の船越洋一でございます。会派代表の渕上議員の関連で、文化財等の整備について、釜山事務所の拡充について、以上2点について市長並びに教育長にお伺いをいたします。

私の持ち時間は22分残っておりますので、答弁は簡潔にお願いをいたします。

まず、1点目は、文化財の整備についてであります。今回は前教育長にも質問した経緯がございますが、清水山城跡の整備について伺います。清水山城跡は御承知のように、有明山から東に延びた支脈の先端に、府中城下を見おろすようにそびえているのが清水山城で、標高206メートルの頂上から地形に応じて3段に山城が構築され、頂上の一の丸、中腹の段を二の丸、東に突き出した段丘が三の丸で、各段には石垣をめぐらした城郭があり、戦国風の山城の形

となっております。昭和59年度に国指定を受け、30年を経過した現在でも整備状況は道半ばでございます。三の丸から厳原市街地全域が見渡せ、景観はすばらしいものがあります。

しかし、ここまで行く道路の事情が悪く、駐車場もありません。また、道路から三の丸まで上る100メートルぐらいの坂の整備もされておらず、観光客はもとより地元の人でさえ上る気にならないのではないかと思います。この地域には、国指定史跡が、宗家墓所、金石城跡、清水山城跡と3つの国指定史跡が固まってあり、全国でも類を見ない地域だと思います。宗家墓所、金石城跡については、整備も大変進んでいますが、その中でも清水山城跡の整備は大変おこなわれていると思われまます。

この際、私は城郭の石垣の復旧、道路から三の丸までの通路の整備、駐車場の整備を観光客誘致の観点からも早急に進めるべきだと思いますが、市長並びに教育長にお伺いをいたします。

次に、釜山事務所の拡充について市長にお伺いをいたします。

現在の釜山事務所は、旧厳原町が釜山事務所を開設したのが始まりで、その後、合併により市に移行され、15年ぐらいなると思われます。当初は町が運営をしておりましたが、現在は対馬国際交流協会が実務を行い、市が補助金を出していると思いますが、近年は韓国からの観光客は年々増加し、年間20万人を超える観光客が来島されております。

歴史上から見ても韓国と対馬の交流は古く、特に江戸時代、鎖国令がしかれる中、幕府公認で釜山に10万坪と広大な敷地を持つ和館があり、400人から500人の対馬人が常駐し、人の往来、外交実務、貿易等が行われ、東アジア国際社会に共通した拠点交流のための館があったと思いますが、当時の長崎出島オランダ館は4,000坪、唐人屋敷は1万坪と言われております。江戸時代から明治初期に至る200年間にわたって存続した、チョリアン和館が実在していたということでもあります。

我が対馬は、全国にない大きな利点があり、地の利をもっと生かすべきではないかと考えます。アジアに発信する歴史海道対馬として、釜山事務所の拡充を図る必要があると考えます。

一つには、対馬産木材の韓国への輸出は、平成22年から民間レベルで素材出荷が始まり、現在では森林公社、森林組合も参画し、平成22年から27年までに2万8,197立米が輸出されております。この際、私は対馬産ヒノキを使った、現代版和館をつくり、釜山事務所として活用すれば、対馬産木材のPRにも役立つと思えます。

また、外国に出す対馬事務所を、民間団体に補助金を出して運営を任せるのではなく、地に足をしっかりつけて行政がかかわるべきではないかと思います。市長の考えをお伺いをいたします。

○議長（堀江 政武君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 清水山城跡の整備についての御質問であります。近年、韓国からの

観光客を中心として多くの外国の方が来島し、国指定の史跡である清水山城も人気スポットの一つとなっております。せっかくおいでいただいた外国人を初め島外の観光客に、史跡や有形文化財、それを展示解説する施設を整備し、いかに満足していただけるものにするかは、文化財活用の面からも非常に重要な視点であると思っております。

清水山城におきましても、史跡保存整備委員会の指導、助言を受けながら、史跡の整備とあわせ、案内板や道標の整備も進めているところです。これまでに、石垣の修理、説明板や道標の設置をしてまいりました。今年度につきましては、三の丸へ上がる階段の整備、三の丸から二の丸への園路の整備、一の丸に説明板の設置等を予定しております。このエリアは、以前から議員御指摘のとおり、金石城跡、対馬藩主宗家墓所そして清水山城跡と国指定の3史跡が集中する全国的にも珍しい地区であり、周辺地域と一体となって整備することで、相乗効果があらわれるものというふうに思っております。

現在、建設が進められている新博物館は、そのガイダンス施設として、また、島内外来訪者の交流機能も備わった施設として計画をされており、お互いの相互理解と交流促進に寄与するものと期待しているところです。いずれにいたしましても、国内外から多くの観光客においでいただき、ここ対馬において国際交流が活発に行われ、それを対馬の活性化につなげていくには、文化財等の活用は欠くことのできない要素であると思っております。

今後も、市長部局と調整協議しながら、文化財の保存活用に取り組んでまいりたいと考えております。以上であります。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず初めに、清水山城についてでございますけども、議員御指摘のとおり、巖原中心市街地からすぐ目の前にございます、この清水山城そして万松院、そして金石城というふうに、この中心地に近いところにこの史跡がございます。この史跡を今後も一体的に捉えて、島内、島外の来訪者の憩いの場そして交流の場として整備をしていく必要があるというふうに認識をしております。

次に、釜山事務所の件についてでございますけども、これまで事務所を建設する方向で検討がされた経緯がございます。釜山の現在の事務所の近辺で空き地となっている駐車場を4カ所ほど調査いたしておりますけども、100坪から160坪の土地におきまして、約1億5,000万円から4億4,000万円ほどの地価でありまして、借地としては考えられないということでございます。そういうことございまして、その上にまた建設費用が数千万円かかるということであれば、現在の家賃、月額約5万3,000円と比べましても余りにも高額であるために、断念したという経緯がございます。

そして次に、この釜山事務所の拡充についてでございますけども、船越議員のほうから、この

釜山事務所の設置目的や現状を把握された上での御提言ということで、大変感謝申し上げたいというふうに思います。私自身も今のこの釜山事務所は、観光客の増、そしてまた木材や水産物の輸出等に係る調査等も必要でございまして、業務もふえつつあります。そういった中で、釜山事務所の業務の拡充は必要不可欠だというふうに認識をしておりますので、今後も検討していきたいというふうに思っておりますけども、ただし、先ほどおっしゃられた民間団体へ委託するのではなく、直営でしたほうがいいのではないかなというような件につきましては、ここはまた、今後も検討をさせていただきたいというふうに思っております。

よろしくお願いいいたします。

○議員（4番 船越 洋一君） 議長。

○議長（堀江 政武君） 4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） まずは、教育長、教育長の管轄は、道路から上の部分ですよ。

あの三の丸に上がっていく、そこの部分から教育委員会の管轄に入ると。私が言うのは、駐車場をつくってくださいと言るのは、これは市部局のほうだと思います。一体として考えるならば、やはり、あすこの上に、今、細い道路があるんですよ、車、タクシーは入っていくんですが。その道路の整備さえできてない。

それと、そこが公衆用道路になっておるんですよ。4軒くらいの方が、その名義であるんですが、その人たち、そこはもう公衆用道路になっとるわけですから、別にそこは舗装するとは別にかまんと思いますが、その上に個人の土地が150坪ぐらいあるんですよ。その人の土地を、例えば買うか借りるかして、そこに駐車場をつくることによって、三の丸に上がって行く、ことし、今年度からその坂道を整備するということですから、そこで上がって行くならば、三の丸にすっと上がって行けるようになるんですよ。

だから、そういうことも含めた中で、教育長とその市長のほうに、この問題を提起しとるわけですから、そこら辺をひとつしっかり考えてください。

それと、釜山事務所について、土地を買うにも1億円ぐらいだと、まあ、いうこともあるでしょう。しかしながら、やはり、この日本の国と例えば対馬市が思えば、外国に事務所出すわけですから、これは大使館ですよ。それを民間団体に業務を委託して補助金を出しますよというようなことは、私はないと思うんですよ。考えられんと思うんですよ。

おまけに市長はこの5年後には30万人を目指そうと、先ほど答弁されましたけども、そういうふうに今から後にそういうことをずっと考えていくのであれば、そういうことをしっかり考えないかんとも思うんですよ、拡充していくには。そうせんと、権限はどこにあるんですかと言われたときには、副所長を置いとりますから、現地採用でこれは対馬市の職員じゃない、国際交流協会の職員でしょう。その人に権限ありませんよ。そしたら、一回一回本庁に言わないかん。で、

そういうふうな出先機関は、私はないと思う。

今から先、やはり韓国からの流入を入れるとなってくると、今、韓国には中国からの観光客も物すごく来てるんですよ。その組を、やはり比田勝港から回して対馬に引っ張り込むという方法もあるでしょう。

また今、巖原の市街地の中を見てみますと、やはり博物館、これも30年、31年ぐらいにでき上がると思うんですよ。横町線も大体それぐらいに上がってくるじゃないかな。東横インは29年度に仕上がりますよ。国際ターミナル、それから国内ターミナルですか、これも早くやっていたかんとはいかんが、31年ぐらいまでには仕上げていただかないかん。

そうすると、市長の任期中なんですよ、これは。大型プロジェクトはあるんですよ。これを行うことによって、対馬の市街地、巖原の市街地ってのは様子が変わってしまうんです。それで、観光的なそういう歴史文化財というのを周辺整備をしっかりとやっての中で、そういうのを引っ張り込んでくるっていうのは、一つの方策だと思うんです。それは市長の手腕だと思います。

本当、もう一つ言いますと、巖原町の中の、例えばホテルが今度できますから、まあそれは何とかやっていってくれる、ホテル宿泊施設は、何とかクリア少しはできるのかなと思います。

しかし、今度は食べ物、飲食業。ここになってくると、今までずっと冷え込んできましたから、飲食業の方たちが、例えば改造をしよう、改修をしよう。しようにも、銀行から金が出ない。だから、改修しようにもできない。

やっぱりそういうところには商工会とか、日本政策銀行とかそういうところには、銀行にも言って、そしてそこら辺のことをやってやっていながら、例えば大きな金額にはならんと思いますよ、改修ですから。クロスを張りかえるか、畳をやりかえるとかっていうことでしょうから。そういう人たちの融資を受けたその利子ぐらいは市で補助してやってでも、そういうことの、何ていうんですか、町の中の雰囲気を変えていくということも必要だろうと私は思うんですが、そういうことも含めてもう残り6分しかありませんので、まだまだしゃべりたいんですが、時間がありませんので、そこら辺を端的にひとつ答弁を願います。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） まず初めに、清水山城についてでございますけども、清水山城につきましては、市といたしましては、あの清水山城全体が山城という考えを持っておりまして、ここで下のほうから博物館、そして心地ヶ池、万松院というふうな史跡を回りながら、清水山城のほうに上っていくということを考えておりますので、現在のところ、今、船越議員さんがおっしゃられた例の上のほうに土地がございますけども、あれも私も承知しておりますけども、その駐車場を今のところ駐車場にする予定は考えてないというところがございます。

2点目の（発言する者あり）まず、3点目の飲食業への改修に対する融資ということでござい

ますけども、現在、今年度予算のほうにも、この商工業関係での跡継ぎの関係、そして、韓国のお客様に対する店内の改修事業につきまして、助成をするということを盛り込んでおります。ここら辺をまずやって、そしてまた融資については、その後、いろいろと各方面とも相談できればいいなというふうに思っております。

そして、2点目の釜山事務所の直営の件につきましてでございますけども、釜山事務所につきましては、先ほども答弁いたしましたように、私自身も拡充が必要だというふうに考えております。

それで、実は今後、人員をふやしていく中では、市からのほうじゃなくて、民間団体のほうからもそこら辺の派遣ができないか、そこら辺を、検討をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） いいのかな、教育長、何か。4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） 教育長はもういいそうですから、私が、もう残り3分ですからしゃべります。

市長、先ほど民間の飲食業の融資とかって話じゃなしに、融資は、そりゃ、銀行とか国金とかそういうところはやるわけですから、やっぱり利子補給ですよ。利息を、利息、これを補助してやるというようなことも、ひとつ頭の中に入れて考えてみてくださいよ。そうすると、だいぶわかりやすくなりますので。

それと釜山事務所の件ですが、やはり民間団体でやって女の子の給料が安いですよ。この前、行って聞きましたけど、18万円ですよ。十何年も勤めとって18万円。確かに、今1,400万円ぐらい補助金が出てます。ですね。けども、安い給料で雇って最大限のことをやってくれて言ったって、だめですよ。やはり、報酬は報酬でしっかり、給料は給料でしっかり出してやって、そこの中でしっかりした対応をやってくれというのが通常だと、私は思いますよ。だから、それは検討してみてください。そうせんと。

それともう一つは、民間団体の任せるとするのは、私はあんまり賛成できません。行政がしっかり当たって行って、国と国とが、昔の善隣友好じゃないですが、そのとき誠意を持って昔のほうがやりよったわけですから。それを民間団体で行かしてって接触させるということではないでしょうが。私、そこら辺もしっかり考えてみてください。市ができんのであれば、できるような方法があるはずなんです。代替で。そういうこともひとつ考えながら、対応はしっかりやってみてください。

教育長、一回、私、佐須の体育館の件はちょっとお願いしときましたが、その経過ですか、それはどういうふうになっとるか、ちょっと一言でいいですから、ちょっと答弁しとってください。

これは、済いません。

○議長（堀江 政武君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 佐須体育館の老朽化による対応策についてでございますが、今年度、小茂田浜地区より佐須体育館の老朽化及び破損等による災害防止についての陳情、要望がありまして、区長と連絡をとり、去る5月11日に現場で詳細をお伺いしたところでございます。

佐須体育館は昭和58年に建設され、老朽化が著しく、建物の外壁、屋根の軒部分が剥がれ落ちるなど、周辺に危険が及ぶこともあり、落下注意の看板を張り、注意を促している現状であります。教育委員会といたしましても、施設の安全性を優先し、解体することも含めて、その利活用について地域の皆様、関係部署等と協議を図りながら、早期の対応ができるように努めてまいりたいと考えております。その間、地域の皆様には、御不便をおかけいたしますけれども、御理解いただきますよう、よろしく願いをいたします。

○議長（堀江 政武君） 時間になりましたので、簡明にお願いします。4番、船越洋一君。

○議員（4番 船越 洋一君） もう時間来ましたのでやめますが、まだ言いたいことはありますがやめますが、教育長、そこひとつよろしく願いしときます。

それから、市長、先ほど言いましたこともしっかり腹に入れていただいて、責任持って外国とは対応していかと、足元見られると、大変なことになりますから、せっかく今いい方向に行ってますんで、そこら辺しっかりよろしく願いします。

終わります。

○議長（堀江 政武君） これで、清風会の会派代表質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時、休憩します。再開は11時15分からとします。

午前10時58分休憩

午前11時14分再開

○議長（堀江 政武君） 報告します。渕上議員より早退の届け出がっております。

再開します。

休憩前に引き続き、会派代表質問を行います。新政会、17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） おはようございます。17番、新政会の会長を務めさせてもらっています大部です。

今回は、特別な会派代表質問、通常ならば、12月と3月となっておりますが、せんだっての市長選におきまして、めでたく対馬のかじ取り役の市長に当選をされ、本当におめでとうございませう。新市長となられたことで、比田勝市長の対馬に対する強い思いが、せんだってありました